

## 第3章 アンケート結果を踏まえた意見交流

第2章では、「道内の取組状況」として、調査研究チームが実施したアンケート調査結果の概要について触れました。チームでは、ここからいくつかの課題をピックアップし、その課題について平成30年度全道図書館専門研修（子ども読書／学校支援）（12月13日、北海道立教育研究所において開催）に参加された公立図書館（公民館図書室等）職員、市町村教育委員会職員、学校図書館の運営等に携わる方々とグループディスカッションを行い、解決に向けた方策を検討していただきました。そこで話し合われた概要は、以下のとおりです。

### 1 アンケートから見えた5つの課題

- ①人事異動により連携の継続性が分断される。
- ②図書館システムが異なり、互いの蔵書情報を把握できない。
- ③教員が忙しく、打合せ機会が不足している。
- ④学校と図書館における物流システムが確立していない。
- ⑤学校司書の未配置

### 2 グループディスカッションの実施概要

参加者がAからHまでの8グループに分かれ、上記1「アンケートから見えた5つの課題」から任意の協議内容を選択し、それについてグループディスカッションを行いました。

### 3 グループディスカッションによって出された意見や課題解決に向けた方策など

グループ A	
協議した課題	③教員が忙しく、打合せ機会が不足している。
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教員は、生徒指導や教科指導、部活、会議とそれぞれの仕事の責任が重く、読書指導まで意識がいかない。</li> <li>○ 公立図書館から学校向けに資料を配布するだけでは目にしてもらえないので、学校に出向いて新入生向けのオリエンテーションを開催するなどの工夫が必要。</li> <li>○ さらに、解決に向けて次の5点を提案。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の年間行事計画から教員のスケジュールを把握する。</li> <li>・公立図書館が学校からの要望に先回りして授業に合わせた関連図書を配本する。</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立図書館が学校のHPやブログの確認を行う。</li> <li>・ 図書担当の教員以外にも興味を持ってもらう。</li> <li>・ 修学旅行などの学校行事に合わせた展示を行う。</li> </ul>
--	---

<b>グループ B</b>	
協議した課題	⑤学校司書の未配置。
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公立図書館が学校図書館を支援する体制づくり。</li> <li>○ 公立図書館が学校向けの説明資料を作成し、教員の引継につなげる。</li> <li>○ 学校教育との連携。</li> <li>○ 学校図書館法の改正に準拠する必要がある。</li> <li>○ 公立図書館と学校図書館で統一されたシステムを導入。</li> </ul>

<b>グループ C</b>	
協議した課題	④学校と図書館における物流システムが確立していない。
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自治体の規模に関わらず、人手不足や予算の問題を抱えている。</li> <li>○ 人員増強、予算の確保、人のつながりを大事にした行政の対応。</li> </ul>

<b>グループ D</b>	
協議した課題	③教員が忙しく、打合せ機会が不足している。
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図書担当の教員だけではなく、教頭を窓口にして対応すると良い。(教員は授業で不在のことも多い)</li> <li>○ 公立図書館から学校に対して読み聞かせのアプローチをするときは、朝や行事の空き時間を利用するとよい。</li> <li>○ 年度初めに各学校から教育計画を入手する。</li> <li>○ 学校から公立図書館に対して、調べ学習で扱う内容を事前に提出してもらう。</li> </ul>

<b>グループ E</b>	
協議した課題	③教員が忙しく、打合せ機会が不足している。
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教員の多忙もあるが、公立図書館、学校図書館の人手不足も関係している。</li> <li>○ 打合せ機会の確保として、現在は電話やFAXが主流</li> </ul>

	<p>だが、図書館見学の際に貸出セットや学校支援に関する案内を渡す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 打合せの時期について、夏休みや冬休みの長期休暇を狙う。</li> <li>○ 公式の会議を開いて直接公立図書館に来館してもらう。</li> </ul>
--	---

<b>グループ F</b>	
協議した課題	課題を特定せず協議。
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アンケートから見えた5つの課題を根本的に解決することは困難だが、公立図書館が学校に対して積極的な働きかけを行うことが大事。</li> <li>○ 支援のアプローチとして、まずは互いを知ること。</li> <li>○ きっかけづくりを大切に、より身近な関係を築くこと。</li> </ul>

<b>グループ G</b>	
協議した課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①人事異動により連携の継続性が分断される。</li> <li>③教員が忙しく、打合せ機会が不足している。</li> </ul>
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 連絡は紙媒体など記録が残るようにする。</li> <li>○ 学校司書やコーディネーターの配置を増やす。</li> <li>○ 学校と公立図書館の間に立つ役割が必要。</li> <li>○ 連携に関する全体的なアイデアとして、次の3点を提案。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営マニュアルがあったらよい。</li> <li>・ 関係者が顔を合わせる機会を増やす。</li> <li>・ 講習会の開催（修理や調べ学習、ブックトークなど）</li> </ul> </li> </ul>

<b>グループ H</b>	
協議した課題	③教員が忙しく、打合せ機会が不足している。
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 打合せの日程を決めて周知する。</li> <li>○ 公立図書館の職員が学校へ直接行って顔見知りになることが大事。</li> </ul>